



LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 333-E

2024-2025 年度

環境保全・マーケティング・PR・IT・アラートに関する
ライオンズクラブ国際協会の取組みおよび
333-E 地区内の現状



2024-2025

§ I N D E X §

1. [環境保全の調査まとめ](#)
2. [マーケティング・PRの調査まとめ](#)
3. [ITの調査まとめ](#)
4. [アラートの調査まとめ](#)

333-E 地区内のクラブ様にご協力頂きました、「2024-2025 年度環境保全・マーケティング・PR・IT・アラートに関するアンケート」を基に、本資料を作成致しました。

本資料の内容は「環境保全」「マーケティング」「PR」「IT」「アラート」に関し、ライオンズクラブ国際協会の取組みと333-E 地区の取組みを比較し、担当委員会としてまとめた記録となっております。

この資料を見た 333-E 地区内のクラブ様にとって一つでもご参考になればとの思いより作成致しましたので、気楽に内容を閲覧して頂ければ幸いです。

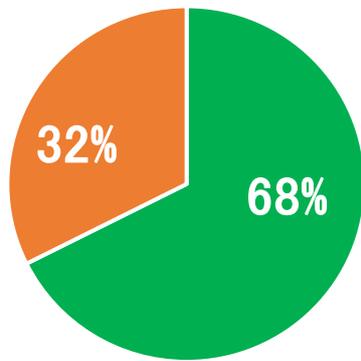
結びになりますが、5つの分野に跨るアンケート(現状調査)をご提出頂きました71クラブ様のご理解、ご協力の程、誠にありがとうございました。

2024-2025 年度 ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区
環境保全・マーケティング・PR・IT・アラート委員会

§ 環境保全アクティビティの実施に関する調査

・環境保全事業を実施している	48
・環境保全事業を実施していない	23

(単位:クラブ数)

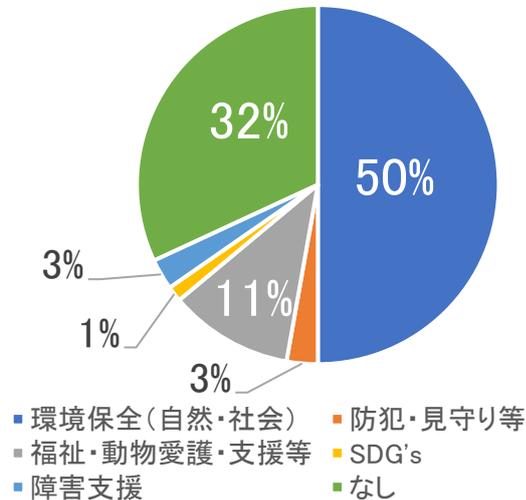


■ 実施している ■ 実施していない

§ 環境保全アクティビティの種類

・環境保全(自然・社会)	36	・SDG's	1
・防犯・見守り等	2	・障害支援	2
・福祉・動物愛護・支援等	8	・なし	23

(単位:クラブ数)



■ 環境保全(自然・社会) ■ 防犯・見守り等
 ■ 福祉・動物愛護・支援等 ■ SDG's
 ■ 障害支援 ■ なし

§ 333-E 地区内で実践されている、環境保全アクティビティの種別

1. 環境保全・環境美化活動 (SDG's 17 のゴール…該当 No.6,11,12,13,14,15,17)

1-1 植樹: 植林に関する活動

・植樹(植林)事業

1-2 環境整備: 自然環境保護や整備に関する活動

- ・水質浄化運動
- ・除草作業
- ・花壇・公園整備
- ・植樹の整備(剪定・除草)
- ・道路里親制度事業への参加

1-3 清掃活動: ゴミ拾いや清掃に関する活動

- ・道路・市街地・公園などの清掃
- ・湖畔・海岸・海面清掃
- ・分別回収

2. 社会福祉・地域貢献活動 (SDG's 17 のゴール…該当 No.1,2,3,11,12,15,17)

2-1 動物愛護: 動物の保護に関する活動

- ・犬猫殺処分ゼロ運動(里親事業・啓発事業など)
- ・動物保護施設へ必要備品・消耗品の寄付
- ・動物ふれあい事業

2-2 福祉・支援活動

- ・小児癌支援(保健福祉事業)
- ・障害者慰問および交流事業(障害者施設・特別支援学校など)

2-3 防犯・安全活動

- ・防犯活動(青パトなど)
- ・声かけ運動

2-4 地域福祉・支援活動

- ・子ども食堂等への協力(フラワーアレンジメント体験なども含)
- ・フードパントリー

3. SDG's の推進: 持続可能な未来を築くための活動 (SDG's 17 のゴール…該当 No.17)

・SDG's の勉強会

4. その他

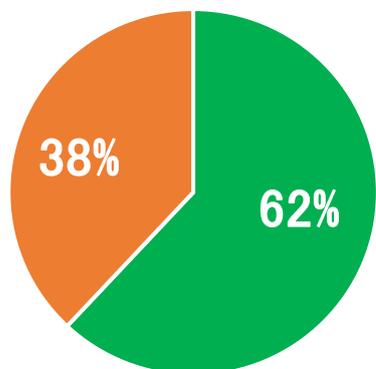
(SDG's 17 のゴール…該当 No.3,17)

・命の授業(教育活動)

§ 今の地域や人々が抱える問題

問題がある	44
問題がない	27

(単位:クラブ数)

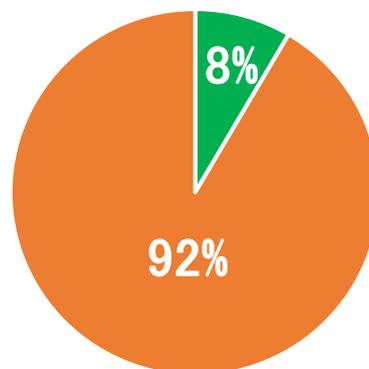


■ 問題がある ■ 問題がない

§ 今の地域や人々が抱える問題に対する事業アイデア

事業アイデアがある	6
事業アイデアがない	65

(単位:クラブ数)



■ 事業アイデアがある ■ 事業アイデアがない

§ 333-E 地区内で見られる、今の地域や人々が抱える問題の種別

5.環境問題 (SDG's 17 のゴール…該当 No.6,11,12,13,14,15,17)

5-1 自然破壊・生態系への影響

- ・太陽光発電所の乱立
- ・気候変動による災害(水害等)
- ・野生動物による畑の被害
- ・鹿島灘の松林の絶滅危機
- ・霞ヶ浦のワカサギ絶滅危機

5-2 廃棄物・不法投棄

- ・不法投棄への対応(ポイ捨てゴミ、産業廃棄物等)
- ・河川敷・道路脇・海岸線 PA のゴミと排泄物の投棄
- ・私有地樹木や雑草による道路への浸食

5-3 その他環境問題

- ・耕作放棄地の拡大
- ・フードロス
- ・道路沿いの草の生い茂り
- ・既存住宅の断熱性の問題
- ・動物愛護

6.社会問題 (SDG's 17 のゴール…該当 No.1,2,3,11,17)

6-1 地域コミュニティ・社会福祉

- ・地域コミュニティの崩壊,居場所作り等
- ・貧困問題(家庭別の格差等)
- ・高齢者の買い物・通院手段

6-2 安全・インフラ

- ・通学路の安全確保
- ・地域外からの車両利用の多さ(道路インフラの問題)
- ・自衛隊基地の騒音

6-3 教育・子育て

- ・PTA 活動の衰退
- ・公立小中学校の環境維持問題
- ・子ども達の食事格差

6-4 その他社会問題

- ・空き家問題

7.SDGs・地域活性化

(SDG's 17 のゴール…該当 No.17)

- ・SDGs 未来都市選定による関心
- ・あらゆる主体の連携の重要性

<環境保全の調査まとめ 3/3>

◆ライオンズクラブ国際協会の環境保全についてのリソース(データツールと提供情報)

< <https://www.lionsclubs.org/ja/start-our-global-causes/environment> >

環境保全奉仕分野(クラブアクティビティ)として以下の取組みを推奨。

※またクラブの奉仕が国連「SDG's(持続可能な開発目標)」の達成に寄与するかご確認ください。

植樹と樹木の世話	環境の浄化と復元	リサイクルと廃棄物管理
地域に適した苗木や若木を植え、大気の浄化と環境の健全化に寄与することで、地域社会を改善する。	生態系、海洋生物、地域社会にとって有害なゴミや汚染物質を取り除くことで、自然と生息地を保護する。	資源を保全し、廃棄物を減らすことで、持続可能性への悪影響を最小限に抑える。
環境への認識向上、啓発、アドボカシー	安全な水とトイレを世界中に	2024年度 環境保全関連 LCIF 交付金 (2025/1/31 現在)
環境保全の重要性に対する認識を高め、地域社会の人々を啓発し、プラスの変化を生み出す。	誰もが安全な水と適切な衛生設備を得られるようにし、世界中で健康アウトカムの改善を促進する。	2024/7/1 月～2025/1/31 までに、LCIF は環境保全関連の事業(3件)に総額 \$24,200の交付金を日本国内に提供。 ・森環境保全:330-C ・海岸清掃活動:333-A ・植樹:336-A
LCI の SDG's 取組み (推奨)		

引用元:Web [Lions International] <https://www.lionsclubs.org/ja>

◆333-E 地区内の環境保全について

前ページにまとめたアンケート結果より、ライオンズクラブ国際協会が推奨する活動のみならず、クラブごと地域に根差した環境保全アクティビティが行われている。

その活動は、「地域の人々が求めている奉仕」「昨今の自然環境変化に対応した奉仕」を活動地域内のヒアリング等も含めた調査と研究をクラブ内で行い、その末に展開されたアクティビティ(特に SDG's…該当 No1,2,3,11,17)であると見受けられる。

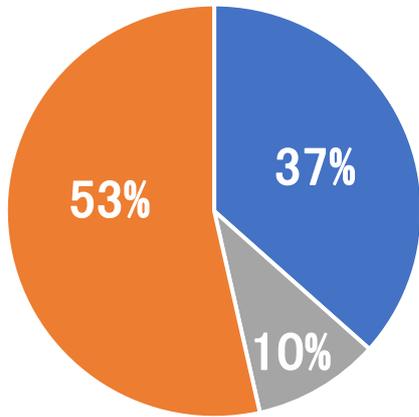
333-E 地区内クラブ (SDG's 実績)	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	11 住み続けられるまちづくりを
	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	17 パートナーシップで目標を達成しよう

参考:2024年度 環境保全・マーケティング・PR・IT・アラートに関するアンケートより

§ クラブ経営での検証機会

経営検証をしている(年1回)	28
経営検証をしている(年2回)	7
経営検証をしていない	36

(単位:クラブ数)

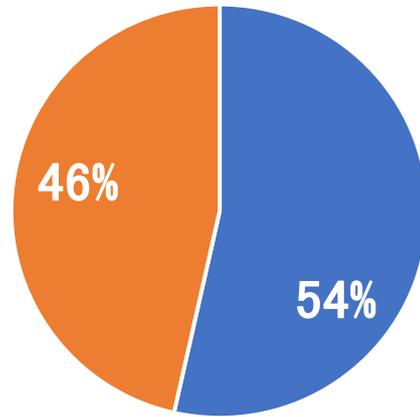


■ 検証(年1回) ■ 検証(年2回) ■ 検証なし

§ 事業ごとの検証機会

事業ごと検証している(毎回)	38
事業ごと検証していない	33

(単位:クラブ数)

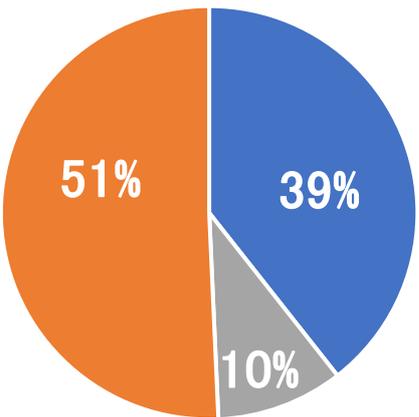


■ 検証(毎回) ■ 検証なし

§ クラブ経営での改善検討

・経営改善をしている(年1回)	28
・経営改善をしている(年2回)	7
・経営改善をしていない	36

(単位:クラブ数)

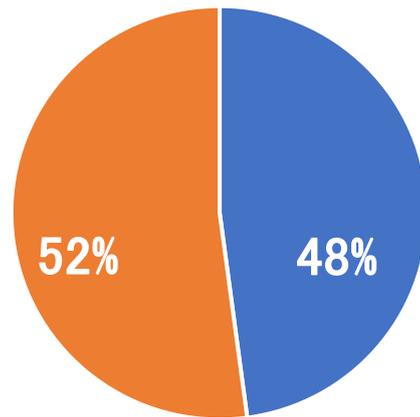


■ 改善(年1回) ■ 改善(年2回) ■ 改善なし

§ 事業ごとの改善検討

・事業改善をしている(毎回)	38
・事業改善をしていない	33

(単位:クラブ数)



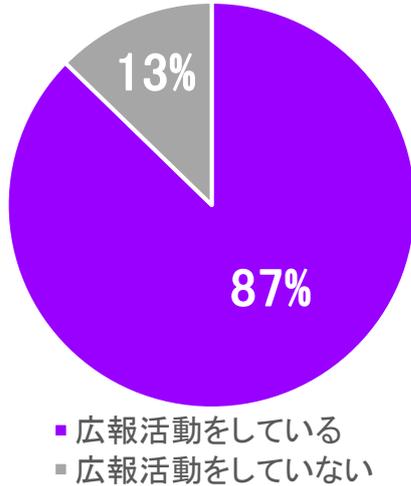
■ 改善(毎回) ■ 改善なし

§ 広報活動について

広報活動をしている	62
広報活動をしていない	9

(単位:クラブ数)

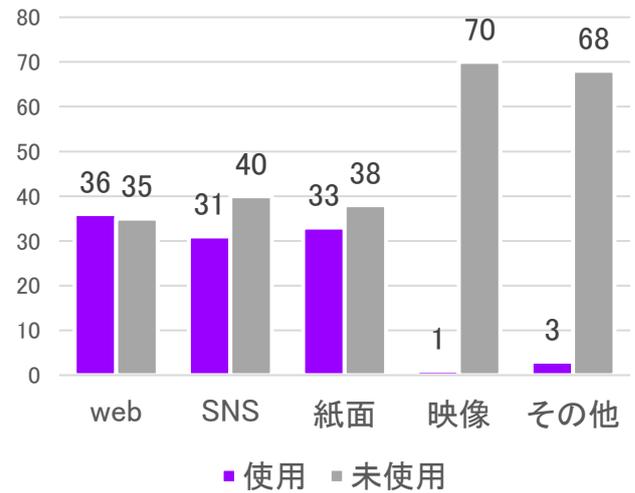
※茨城新聞【ライオンズサイト】以外の広報活動



§ 広報の使用サービス

	使用	未使用
web	36	35
SNS	31	40
紙面	33	38
映像	1	70
その他	3	68

(単位:クラブ数)



1.Web 等サービス

・協力校 HP 掲載
・地元 TV 出演他
・まちコイン(地域行政サービス)

2.映像・SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)

・YouTube
・Instagram
・X
・Facebook

3.紙面サービス

・会報誌(回覧板・郵送・配布等)
・新聞へ掲載
・チラシ等への掲載(盲導犬育成募金など)

4.その他の広報

・小,中,特別支援学校 等への協力 (協賛・あいさつ運動・交流会 等)
・地域イベントの参加・協賛 等

§ 広報について 333-E 地区への要望やクラブコメント(任意回答内容)

・半期に一度程度、333-E 地区で全クラブ活動を掲載。(web 掲載・事業取材 等)
・クラブで取組む簡単かつ有効な手法を発信して欲しい。(低コストの工夫・クラブ誌発行 等も含む)
・広報活動は費用が低い方が良い。
・広報はまず、自クラブが率先して実行する必要がある。

◆ライオンズクラブ国際協会のマーケティング・PR についてのリソース(データツールと提供情報)

< <https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/club-marketing> >

< <https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/brand-guidelines> >

マーケティング分野・PR 分野として以下の取組みを推奨。(ライオンズクラブ国際協会資料の抜粋を要約)

クラブの奉仕に光を	ストーリーを伝える	会員増強行事を PR する
<p>Step1: 事前 PR も重点的に 地域の人々にライオンズの奉仕事業、資金獲得活動、地域行事を必ず知らせましょう。</p> <p>地域の人々が、ライオンズとはどのような活動を行う組織なのかを理解して頂く為です。</p> <p>そして理解者が増える程、ライオンズの奉仕への参加者を増やしていただけます。</p>	<p>Step2: 行動の説得力から理解へ ライオンズのストーリーは感動の宝庫である。</p> <p>そのストーリーを伝える事は、援助が必要な人々の為に実施しているクラブ活動を、地域の方々に理解して頂く強力な手法でもあります。</p> <p>何故ならば、人間が本当に経験した事は、他者の心に訴え、変化を呼び起こす運動として伝播するからです。</p>	<p>Step3: 理解者の中から仲間を増やそう Step1, Step2 を経た上で、地域社会に対して会員増強行事の PR は、思いやりのある男女がライオンズの奉仕や行事へ参加しやすくなる為に効果的な方法です。</p> <p>皆さんのクラブは、会員の数が増えれば、これまで以上に多くのことを実行できます。</p>
クラブ・マーケティング	クラブ・PR	
<ul style="list-style-type: none">・事業(アクティビティ)・会員増強運動・クラブブランディング <p>これらのマーケティング計画を立案する事が効果的である。</p> <p>※「事業単位」「クラブ年間計画」の目標・検証・改善を明確化する事を推奨。</p>	<p>従来の広報手段に加え SNS の活用もライオンズのストーリーを伝える事に効果的です。</p> <p>また、地域のパートナー、他のライオンズと協力する事により、ライオンズの奉仕に注目を集める事に効果的です。</p>	

引用元: Web [Lions International] <https://www.lionsclubs.org/ja>

<マーケティング・PRの調査まとめ 4/7>

◆333-E 地区内のマーケティングについて

前ページにまとめた「マーケティング」のアンケート結果より、「クラブ経営」「奉仕事業」共に「検証(振り返り)」「改善(見直し)」を、年度内で実施しているクラブは約半数、実施していないクラブは約半数である。

この事より、333-E 地区内に於いてライオンズの奉仕を現在以上に伝播できる余地が十分にあるとも考えられる。その際に課題となる事は、会員数増減の偏りが地域により見られている現在、333-E 地区内クラブ・ゾーン内クラブ・隣接クラブという各スケールでノウハウ(ICT スキルも含む)および情報の共有が停滞してしまう事である。

故に、マーケティングの実践で効果的である事の案として、改めてクラブの垣根を超えた活動形態も選択肢の一つとして取り入れ、ライオンズのブランディング力を地域で高め、益々の地域理解を創出し、より多くの理解者を増やしていく事が考えられる。

◆333-E 地区内の PR について

前ページにまとめた「PR」のアンケート結果より、独自の広報活動をしているクラブは 87%である。広報媒体としては、「web」「SNS」「印刷物」を単独利用、若しくは、併用しているクラブが約 45%~50%を占めていた。

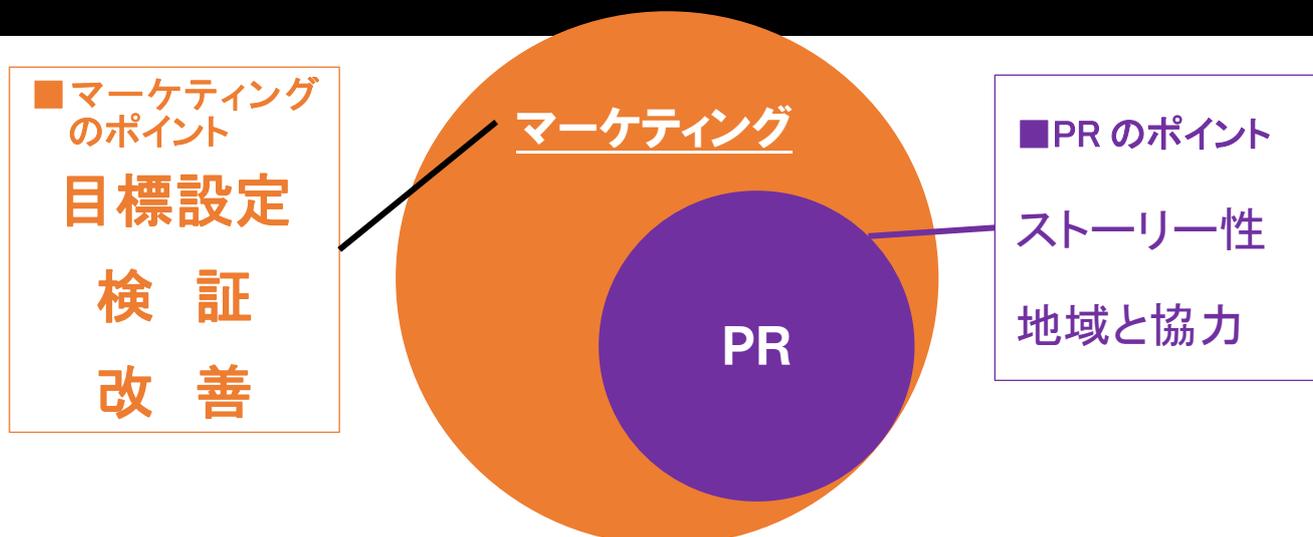
インターネットを用いた地域と繋がる広報活動(web, SNS 等)が概ね浸透している中、既存の地域コミュニティや組織と連携した広報活動も見られた。※

また 333-E 地区に寄せられた要望やコメントより、半期に一度全てのクラブ活動の発信や自らが主体的に情報を発信していく旨の、情報の共有と積極性が重要であるご意見、広報活動のコスト軽減や有効な手法の情報共有を求める声も頂きました。

これらを踏まえて前ページのライオンズクラブ国際協会が発信する PR の観点と照らし合わせると、現状の広報活動を進めるにあたり「地域にストーリーを伝える」「地域のパートナーと協力する」という点を重点に置く事で、地域の中でより多くの理解者を増やしていけると考えられる。

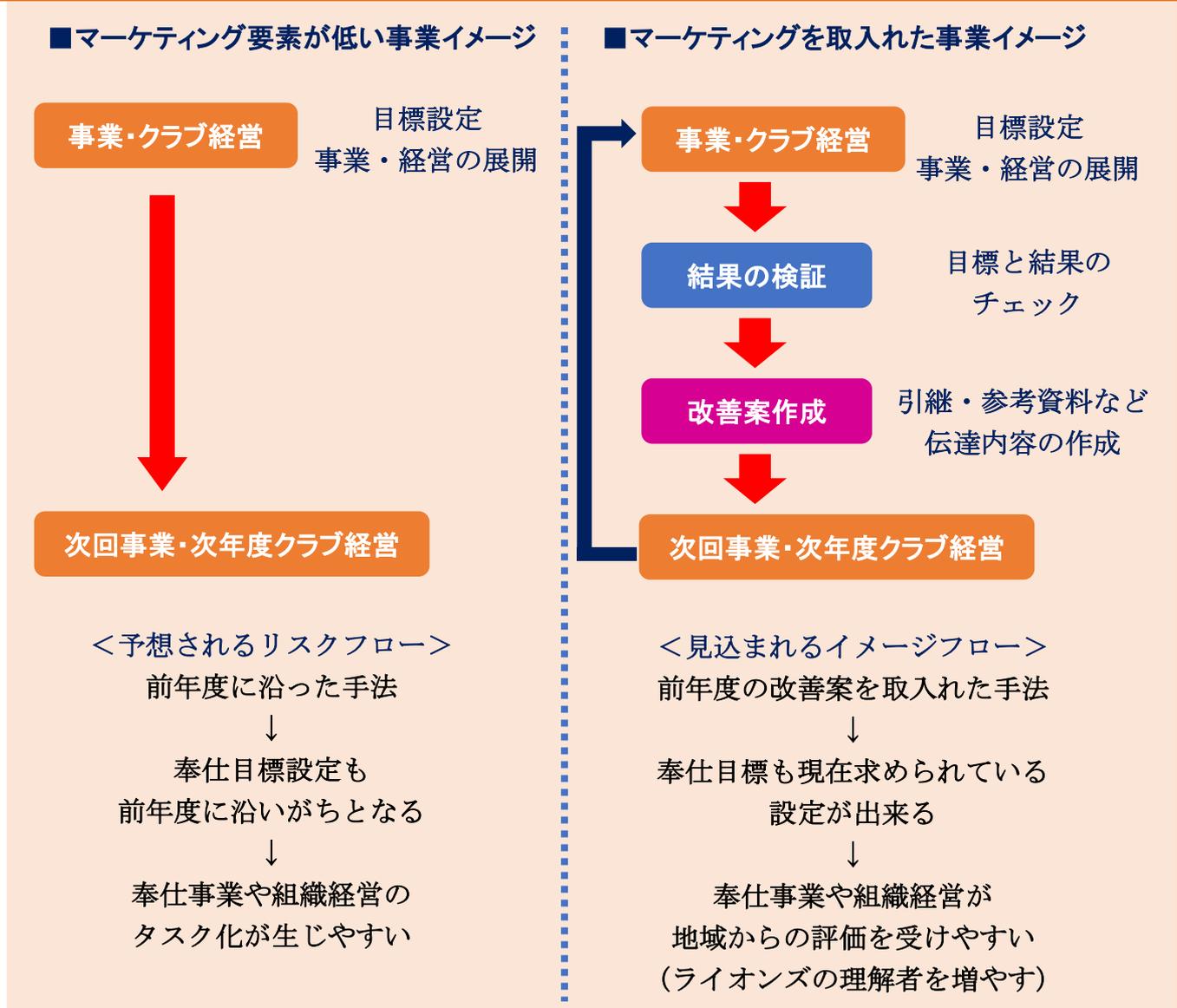
※【行政サービスの利用(市報等), 地域メディアの協力や活用(新聞, TV 等), 民間団体とのタイアップ(チラシへ掲載), 地域事業の参加, 学校等への協力等】

マーケティング・PR のイメージとポイント(地域でライオンズの理解者を増やす)



計画的な経営→能動的な行動・発信→理解者の増加→Mission1.5(会員増強)

マーケティングイメージフローの比較



奉仕・組織目標の設定

- ・対象の設定(対象者数も含む)
- ・PR方法の設定
- ・地域課題に対する手法設定
- ・結果予測を設定
- ・その他

※5W1Hの項目ごとに整理すると目標設定がしやすい。

When(いつ), **Where**(どこで)

Who(だれが), **What**(なにを)

Why(なぜ), **How**(どのように)

結果の検証

- ・設定目標と結果を比較
- ・結果予想と結果の差を確認
- ・結果理由の精査

※₁ 目標に達した点, 達しない点, 達し過ぎた点を客観的事実かつ端的に言語化し分析する。

※₂ 感想…×, 考察…○

改善案作成

- ・検証結果から改善点を確認
- ・改善点から改善案を作成

※改善案を作成する際, 文章化せず, 目標項目ごとに改善案を作成すると引継などが正確に実行できる。

PR方法の紹介

■ 広報活動イメージ

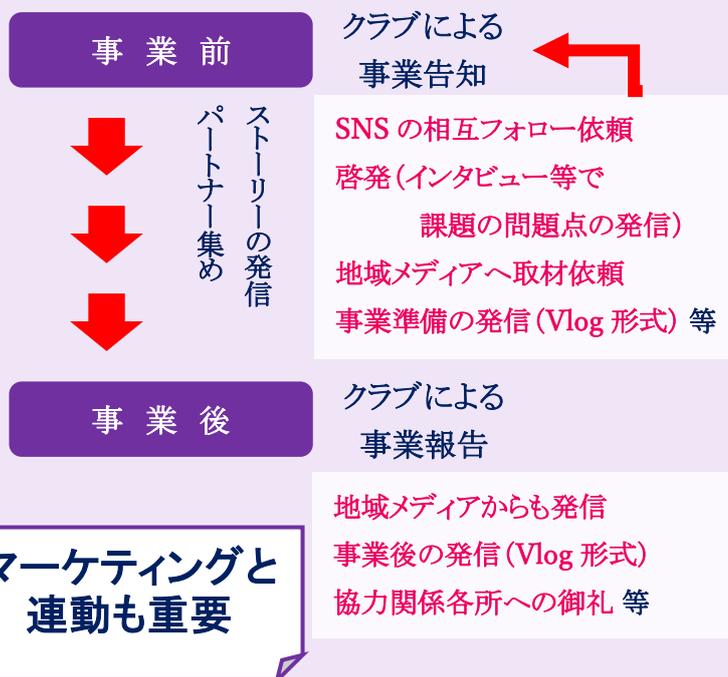


話題を作る
×
共感の伝播

日直
若椎
林名

関心を高め・関心を集める
(ストーリー性)・(パートナー集め)

■ ストーリー・地域パートナーと協力を取入れた 広報活動イメージ



<補足:ライオンズクラブ国際協会のマーケティング・PRと333-E地区内の現状を踏まえた分析>

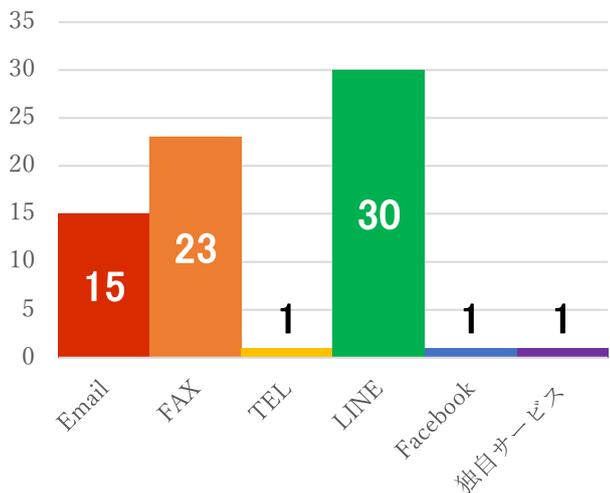
年月と共に変容する地域社会と地域に住まう方々に於いて、尽きぬ地域課題に対する奉仕もあれば、新たな地域課題に対する奉仕もあります。そして未来に生じると思われる課題に対する奉仕なども含め「現在・過去・未来」の変化に柔軟に対応していく為に「検証」と「改善」は有効です。

柔軟に対応した「クラブ経営」と「奉仕事業」のみならず、そのストーリーも有効に発信(PR)していけば、より多くの参画者を募る可能性増え、より多くの理解者を得、一番の理解者であるメンバーを増やす事へつながると考えられる。

§ クラブ連絡でメイン使用する通信サービス

•Email	15	•LINE	30
•FAX	23	•Facebook	1
•TEL	1	•独自サービス	1

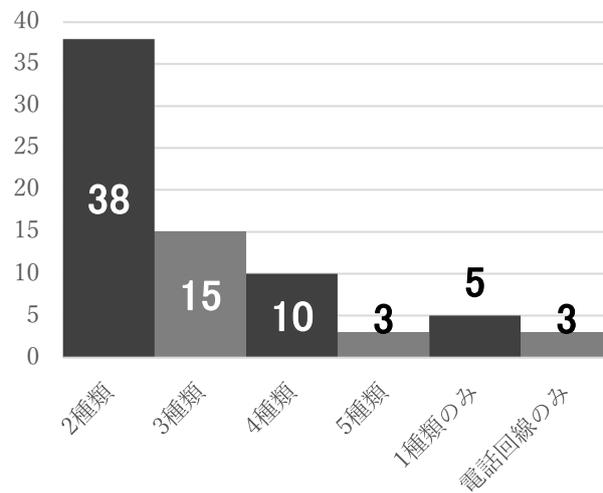
(単位:クラブ数)



§ クラブ連絡で補助的に使用する通信サービス

•2種類	38	•5種類	3
•3種類	15	•1種類のみ	5
•4種類	10	参:電話回線のみ	3

(単位:クラブ数)



1.使用通信サービス一覧と組合せ(メイン使用・補助的使用含む)

◆使用サービス一覧

•Email	•FAX	•TEL	•郵便(はがき・資料)
•LINE	•SNS	•独自サービス	

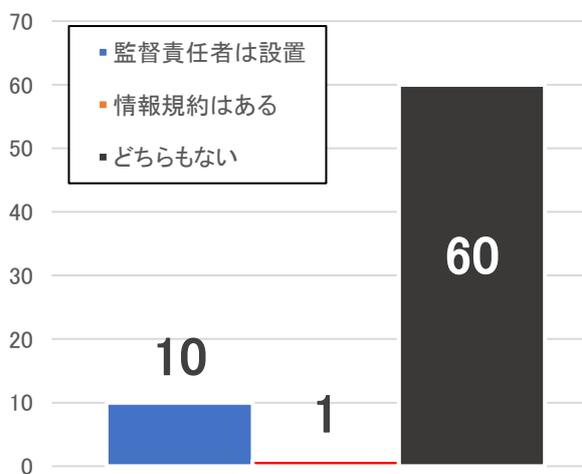
◆併用使用サービス、組合せ

•Email,LINE	•Email,LINE,TEL	•Email,LINE,FAX,TEL	•LINE,FAX
•Email,LINE,FAX	•Email,FAX,TEL	•独自サービス,FAX	•LINE,SNS
•Email,LINE,FAX,TEL,郵送	•Email,LINE,FAX,TEL,SNS		

§ 情報セキュリティの規約,監督責任者の設置

•監督責任者は設置	10
•情報規約はある	1
•どちらもない	60

(単位:クラブ数)



<IT の調査 まとめ 2/3>

§ Lion Portal での報告(1 回以上)

§ eMMR ServannA(サバンナ)の動作確認(1 回以上)

※調査期間;2024/7/1~2024/12/10 於

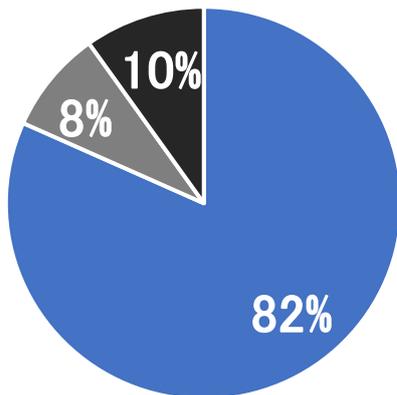
・報告した	58
・報告していない(報告方法がわかる)	6
・報告していない(報告方法がわからない)	7

(単位:クラブ数)

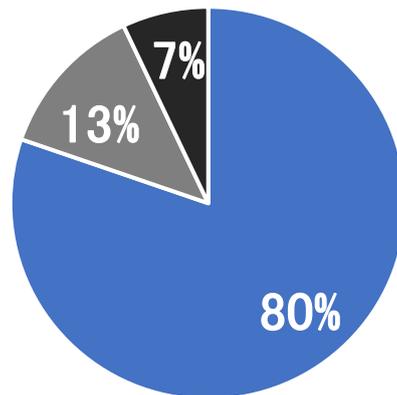
・動作確認した	57
・動作確認していない(ログイン可能)	9
・動作確認していない(ログイン不可能)	5

(単位:クラブ数)

※報告…アクティビティ報告, 会員動静報告



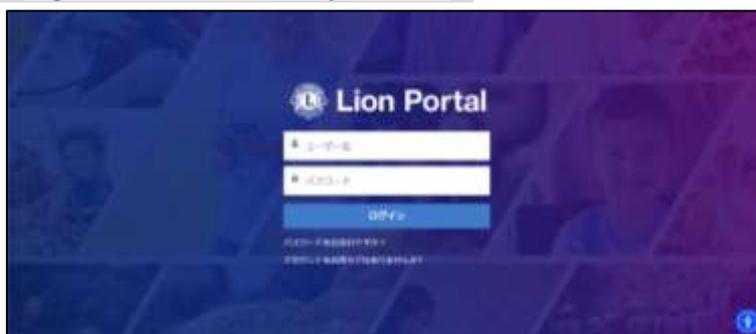
- 報告した
- 報告していない(報告方法がわかる)
- 報告していない(報告方法がわからない)



- 動作確認した
- 動作確認していない(ログインできる)
- 動作確認していない(ログインできない)

◆ライオンズクラブ国際協会の IT についてのリソース(データツールと提供情報)

< Lion Portal ログインページ <https://lionsinternational.my.site.com/> >



< オセアル調整事務局 Lion portal 解説ページ <https://sites.google.com/site/pacificasianja/home> >



<IT の調査まとめ 3/3>

◆333-E 地区内の IT について

前ページにまとめた「IT」のアンケート結果より、「クラブ連絡」の IT 化は複数の通信サービスを併用している事より約9割超えの調査結果が得られた。メインで使用している上位3種は、「LINE」「Email」「FAX」の順番である。ここで、メイン手段のみで IT 化(デジタルツールの使用)を考えた場合の IT 化率は 66.2%である。

これはライオンズクラブ国際協会の IT ツール(活動報告などで使用する Lion Portal)がデジタルツール化した中では、約3割強のクラブが使用困難に陥りやすい事を示唆する要因でもある。・・・①

更に Lion Portal の活動報告および eMMR ServannA(サバンナ)の動作確認の調査結果を見てみると、約8割のクラブはデジタルツールの使用が出来ている結果が得られ、約2割のクラブがデジタルツールの使用が困難である結果も得られた。・・・②

前段の①, ②より、333-E 地区内に於いて、LCI の IT ガバナンスが徹底されている割合は約7~8割であり、残り2~3割をどの様に333-E 地区内、ゾーン内、クラブ内でカバー出来るかという課題がある。

次に、「情報セキュリティーの規約,監督責任者の設置」については、8割強のクラブが未設置という調査結果が得られた。昨今のデジタルツール主流の社会に於いて、民間のボランティア組織でもこれらの設置は求められている。

何故ならば、IT→ICT へデジタルツールの需要も移り、更に進化し続ける人と人の関わり方(コミュニケーション)が見られるからである。故にライオンズも対内・対外の別なく、時代を理解した柔軟さも取り入れた上で社会環境への適応も求められているからである。

通信サービスの比較

	伝達の速さ	確実な資料の授受	過去情報の確認	特 徴
LINE	◎	○ or △※	△	・手軽に情報を送信 ・外出先でも使用可
Email	○	◎	◎	・大きな情報も送信 ・ファイル送信に適す ・過去記録も閲覧容易
FAX	○	○	△	・情報を送信 ・情報が紙で残る

※:LINE の場合は、PC で操作可能またはスマホからプリンターで印刷が出来ないと、送信された資料を印刷できない。(ファイル期限を過ぎた場合、閲覧も不可能になる。)

↑ ↑ ↑

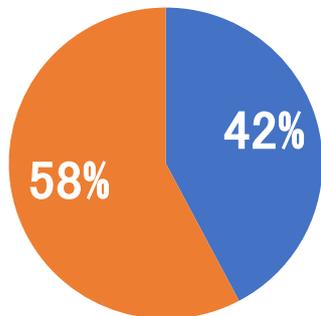
連絡を送った側は「確実に連絡済」という意識になるが、
連絡を貰った側は「連絡を受け取ったが確認出来ない」という現象が生じやすい

情報不伝達の高リスク

§ 災害時に連携する協カクラブ

・協カクラブがある	30
・協カクラブがない	41

(単位:クラブ数)

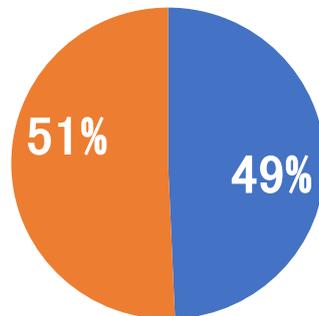


■ 協カクラブがある ■ 協カクラブがない

§ 災害時に連携する協力組織

・協力組織がある	35
・協力組織がない	36

(単位:クラブ数)



■ 協力組織がある ■ 協力組織がない

§ 協カクラブ・組織

・行政	12
・他 地域団体	11
・茨城県内 LC	8
・茨城県外 LC	11

(単位:クラブ数)

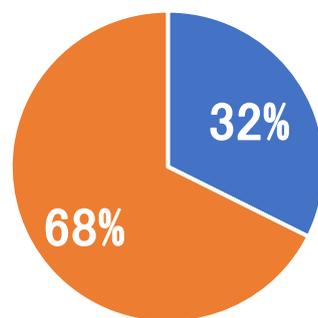


■ 行政 ■ 他民間団体
■ 茨城県内LC ■ 茨城県外LC

§ クラブ内のアラート組織の設置

・設置している	23
・設置していない	48

(単位:クラブ数)

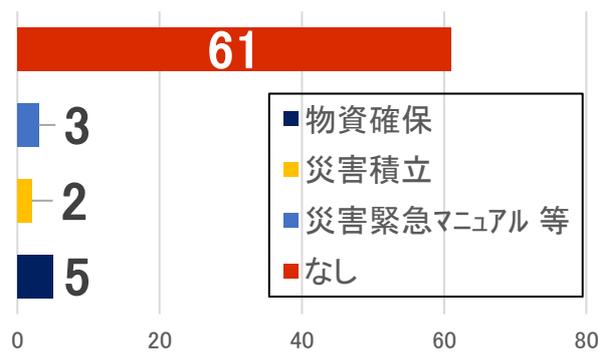


■ 設置している ■ 設置していない

§ クラブの受援(災害予防)準備と取組

・物資確保	5
・災害積立	2
・災害緊急マニュアル等	3
・なし	61

(単位:クラブ数)



・災害対策・支援 (住民向け)	災害啓蒙活動(地域で勉強会・起震車・消防体験) 備蓄と備蓄啓発(消毒液・非常食・水)
・災害対策・支援 (団体間連携)	災害協定(行政・他団体・他クラブ)
・災害ボランティア関連	災害ボランティア研修会へ参加
・その他	チャリティー事業の開催

◆ライオンズクラブ国際協会のアラートについてのリソース(データツールと提供情報)

< LCIF ページ <https://www.lionsclubs.org/ja/give-our-focus-areas/disaster-relief> >

< 災害支援交付金プログラム <https://www.lionsclubs.org/ja/member-resource-center/grants-and-awards/foundation-grants/lcif-grants-toolkit/disaster-relief-grant> >

< ブログ記事 <https://www.lionsclubs.org/ja/blog/a-path-to-restoration-lcif-response-to-japan-noto-earthquake> >

ライオンズクラブ国際財団(LCIF)コンテンツスペシャリスト シェルビー・ワシントン 2024/11/19

災害援助について

LCIF 交付金

ライオンズは災害が発生したら早急に支援活動を開始します。
ライオンズの支援活動の為に LCIF は、「災害関連の交付金プログラム」を通し早急に資金を提供します。

期間：2024/7/1～2025/1/31
実績：LCIF は 89 件の災害援助関連事業に対し、総額 \$1,742,295 の交付金をライオンズの災害援助活動へ提供。

LCIF 災害支援交付金プログラム

注意：クラブによる申請は「クラブシェアリング交付金」のみ

防災準備交付金	緊急援助交付金	大災害交付金
将来自然災害が発生した時の災害支援活動に適応 交付金：\$5,000～\$15,000	自然災害の被災者に対する緊急および短期的救援活動を援助するライオンズ主導の奉仕事業を支援 交付金：\$5,000～\$15,000	国際的に重大な影響を及ぼす大規模災害が発生した後の、長期的な復興事業を支援する為の多額資金を提供 ※国際会長,LCIF 理事長の裁量により交付。 (地区申請は不可)

クラブシェアリング交付金

年度中にクラブが行う LCIF 寄付を財源とし、翌年度に申請できる交付金 (申請条件有り)

<アラートの調査まとめ 3/3>

◆333-E 地区内のアラートについて

前ページにまとめた「アラート」のアンケート結果より、約 4～5 割のクラブが災害時に連携するライオンズまたは他団体との繋がりを有していた。

しかし、自クラブ内にアラート委員会などの防災組織機能は約 7 割有していない事が調査結果より得られた。

更に、自クラブ活動エリア内で有事の際に向けた災害予防(受援準備)またはその取り組みは、8割強のクラブが有していないと調査結果より得られた。

この事を踏まえると、333-E 地区内に於いてライオンズが災害に対し迅速な行動を取る為には、改めてそれぞれのゾーン内、クラブ内で災害に対し「自由な発想」のもと、「知識を増やし」、「自らの国内、地域を考え」、「ご安全に」の気持ちで対話の機会を増やす事が、ライオンズのアラートに関して重要であると考えられる。

<ライオンズクラブ国際協会 333-E 地区 ダウンロードページ[2025/2/17]より <https://lc333-e.com/filedownload/>>

■333-E 地区で適用しているアラート関係の規則および資料(2025/3/31 現在)

1 地区緊急災害対策本部規則

2 地区緊急災害対策本部規則 運用マニュアル

3 333-E 地区内規緊急援助資金規程

4 333-E 地区災害対応マニュアル 【2025.2.17 運用開始】

クラブ内で出来る事

防災準備

- ・ 災害緊急マニュアル
- ・ 物資確保
- ・ 災害積立
- ・ 災害啓蒙活動
- ・ 災害協定の締結 (他クラブ, 他団体)
- ・ 災害の意見交換
- ・ 災害発生シミュレーション
- ・ 地域行政の災害に対しての取組準備を知る

災害発生時

- ・ 自らが被災者の場合、防災準備を活かし冷静に状況を見極め適切な行動を取る。
- ・ 自ら以外に被災地がある場合、333-E 地区, ゾーン, 災害協定を締結した組織と連携して防災準備を活かし冷静に状況を見極め適切な行動を取る。